

希望の丘はだの 地域連携推進会議報告（施設見学）

日時：令和8年2月10日（火）10時半～11時半

出席者：出席者：利用者代表、家族会長、地元自治会長

施設長（管理者）、秦野精華園園長、総務部長、秦野精華園支援部長

1 開会

管理者より、見学会に先立ち以下の説明を行う。

設立と規模：令和2年（2020年）4月にスタート。秦野精華園での多床室（2～4人部屋）から移行し、現在は全42室が約11平米（約6～7畳）の完全個室となっている。

役割（通過型支援）：比較的若い利用者を対象に、2～5年を目安にグループホームなど地域生活への移行を目指す。また、地域生活が困難になった方の再受け入れによる生活安定も担う。

実績：これまでに24名がグループホームへ移行し、17名が一般企業へ就職している。

2 施設見学

今回は、利用者代表の生活する女性ユニットを中心にきてもらい、説明等についても利用者代表に担ってもらい、管理者の方で補足する形で見学を進めてた。

見学会における質疑応答と詳細説明

鍵の管理と自立:

質問：鍵をなくすことはないか？（自治会長）

回答：利用者代表さんは「一度もなくしたことはない」と回答。施設側では、利用契約時に鍵を渡し自己管理を促しているが、不安な利用者には外出時に職員が預かるなどの声掛けを行っている。成人施設の標準（10平米以上）を満たす約11平米（6～7畳）の個室。児童施設（6平米）から移ってきた利用者からは「広くなった」と好評。各居室の入口には確認用の小窓があるが、本人の希望で塞ぐことも可能。ただし、その場合は夜間巡回時に職員が鍵を開けて入室することを条件としている。

生活設備とグループホーム（GH）への移行を想定した支援

入浴と洗濯の自立:

質問：男性ユニットに個浴（ユニットバス）はないのか？

回答：以前は男性ユニット（ダッシュ）にもあったが、ユニット構成の変更に伴い、現在は女性ユニットを中心に設置されている。GHでの生活を想定し、個浴での入浴や掃除、洗濯（洗濯機・乾燥機・室内干し）を自分で行う訓練をしている。特に女性には下着の中干しを指導している。

Wi-Fi環境の整備:

説明：9月から各部屋でWi-Fiが利用可能に。以前は食堂の共有テレビを交代で見れていたが、現在は自室でFire Stick等を使い好きな時間にYouTubeを楽しめるようになった。

懸念点：ゲーム等への没頭による睡眠不足が心配されたが、講習を受けルール（平日22時、週末23時就寝）を守ることを前提に運用しており、現状は守られている。

ユニット構成と食事・交流

男女ユニットの距離感:

質問: 男女ユニットの間に設定(仕切り)はあるか?(家族代表)

回答: 双方から直接見えないよう、衝立(目隠し)を設置して適切な距離感を保っている。

食事の提供と見守り:

質問: 食事は各エリアで摂るのか?(自治会長)

回答: 4つのエリア(ユニット)ごとに食堂があり、小集団で静かに食事を摂る。

説明: 手前のテーブルは、職員が常に見守りや介助を行いやすいよう、年齢が高い方や障害の重い方向けに配置している。調理は秦野精華園で一括して行い、下の調理室で配膳して各食堂へ運んでいる。

調理実習:

質問: 食堂のキッチンで調理もするのか?(家族代表)

回答: 休日などに「焼きそばパーティー」などの調理実習を行い、施設給食に頼らない自炊の経験を積んでいる。

日中の活動と職員体制

説明: 平日は全員が作業プログラムに参加することが前提。静養者が出た場合でも、誰もいなければ施設長が待機するなど、常に誰かが対応できる体制を整えている。

職員の見守り工夫:

説明: 早番・遅番・夜勤の体制。職員一人が2つのユニットを同時に見渡せるよう、食堂等の壁は開閉可能な設計になっている。また、20時以降のプライベート時間は、職員が過度に干渉せず見守りに徹している。

4, その他

本日欠席だった1名は別日程でおこなうことを確認した。

5, 閉会

次年度は見学と会議を同一日に行うことを確認し閉会とした。

○3/6 近隣施設事務局長の施設見学を実施。ユニット内の設備や利用者代表委員の今後の目標について利用者代表委員へ質問されていた。若い方が中心で、活気が感じられるとの感想をいただいた。